

和歌山スキー協通信

2023. 3. 15 (22-23 NO. 4)

絶景の木曽福島へ！

2/15(水)・16(木)、
県スキー協主催平日ツアー
(木曽福島スキー場)には
4クラブから9名【小林・
木下(きのくに)、岸裏一・
睦(ビュースター)、池口・
辻本・伊藤(シュカブラ)、
中岡大(すべりや)、宮本(会
員外)]が参加しました。(先
発組の小林・木下・岸裏夫
妻の4名は14日早朝出発
して3日間滑走)

たいへん寒い日になりま
したが、スキー場の公式ブ

ログにも「間違いなく今シーズン一番」と掲載された絶景を堪能しました。スキー教室も開催され、大変充実したツアーになりました。



2月14日から3日間、木曽福島スキー場へ行ってきました。初めてのスキー場はスキーヤーだけのスキー場です。平日のためかゆったりとしていて滑りやすい。ゲレンデは硬いバーンで苦手なのですが！

3日間天気もよくて雪をかぶった山々の美しく雄大なこと！ 目にするだけで来てよかったと思いました。また、この自然を私たちは、敬い大切にすべきものだと感じます。

基礎のレッスンでは池口指導員に私の滑りを見てもらい、やさしく丁寧に指導してもらいました。私に欠けているものは「ギュー ギュギュ ギギ」の擬音だけであること、「ギュー スー ギュー」の「スー」の音が無いことを気づきました。また、大嫌いな横滑りに悪戦苦闘でしたが良い経験でした。

たのしい仲間と滑れてなんと気持ちの良いことか。またいっしょに是非滑りましょう！ ありがとうございました。(ビュースタースポーツファミリー 岸裏睦子)

今回、何年かぶりで参加者2名の方に指導をさせていただきました。今回お二人にはスキー板の真ん中に乗って滑ることをお伝えしました。3～4時間の短い時間でしたが、お二人が少しずつ上達していくのが楽しくて時間を忘れてしまいました。また機会があればお二人とは一緒にスキーをしたいですね。木曽福島の絶景の中で楽しくスキーができて最高でした。
(シュカブラスキークラブ 池口 覚)

池口指導員、 30年ぶり?のレッスン!



※次の県スキー協ツアーは3/25・26 志賀高原。
参加希望者は大至急連絡ください!

中岡滉、今年も国体へ!

(すべりやスキークラブ機関紙「ツンドラタイガ」NO.58より転載)

2月14日から19日の日程で、岩手県八幡平市安比高原スキー場で行われた冬季特別国民体育大会に和歌山県代表として参加してきました。昨年に引き続き2度目の出場です。

今年のコースは昨年の花輪スキー場に比べると、斜度もバーンのかたさも難しいものではありませんでした。当日は、柔らかい雪の影響もあり、コース整備が多く行なわれたことで、予想していた時間よりもだいぶ出走が遅くなり、うまくタイミングをつかむのが難しかったです。

自分の番が近づくにつれて、少しずつ緊張はしてきましたが、昨年よりは緊張していなかったため、ある程度自分の滑りができると思い、出走しました。しかし、実際に滑り始めると、頭からポールに入り、内倒してしまい、板のエッジが外れず、ターンがどんどん遅れてくるということがおこり、まったく普通の滑りをするのができませんでした。何とかゴールはできましたが、終わってタイムを見るとトップとは20秒以上の差が開き、動画を見ても、本当によくないすべりをしている自分がいて、とてもショックを受けました。タイム差以上に普通の滑りができなかったことがすごく悔しかったです。



来シーズンどれだけスキーができるかわかりませんが、今回の滑りを忘れず、しっかりと緊張感を持ちながら練習に励みたいと思います。またトレーナーの方に身体の硬さを指摘され、身体がほぐれるとすべりも大きく変わるといわれたので、その点も意識しながら、よりよい滑りに向けて練習していこうと思います。(中岡滉)

氷ノ山ポール練習会

2/4(土)、関西ブロック競技部主催のポール練習会が氷ノ山国際スキー場で開かれ、岸裏一・中岡大の2名が参加。ブロック競技部長の小島さん(滋賀)のアドバイスを受けながら、関西の仲間とポールを楽しみました。



全国競技大会、都道府県対抗で6位!

2/25・26の両日、湯ノ丸高原スキー場で開催された第49回全国スキー競技大会に和歌山から3名(すべりやの中岡大・中岡滉と、橋本市在住でSAJのクラブに所属する吉田さん)が参加しました。少人数でしたが、都道府県対抗では6位と健闘しました。

中岡 滉(男子1部 ※45歳未満の部)	大回転—3位、回転—4位
中岡 大(男子3部 ※55歳—60歳未満の部)	大回転—2位、回転—1位
吉田政司(男子4部 ※60歳—65歳未満の部)	大回転—3位



中岡大の好成績にはある秘密が。

(ヒント①参加人数

ヒント②速い人がコケることもある)

50代男子のみなさん、チャンスですよ。来年はぜひ入賞を狙ってみてください!

東海・関西ブロック競技大会(3/11・12)

野麦峠スキー場で開かれた東海・関西競技大会に岸裏一・中岡大の2名が参加。選手が交代で役員も務める手作りの大会で、豪華な景品もゲット!

岸裏一起(60才台男子の部)	回転—11位、大回転—12位、総合—12位
中岡 大(50才台男子の部)	回転—1位、大回転—2位、総合—1位

「スキーマイト」、「スポーツのひろば」を読んでみませんか？

「スキーマイト」は全国スキー協の機関紙で年5回発行されています（定価 320 円）。

「スポーツのひろば」はスキー協が加盟している「新日本スポーツ連盟」の機関紙で毎月発行されています（定価 290 円）。

「スキーマイト」NO.197（2023年1月号）にはグラビアページのどこかに辻本・中岡大・滉が写っています。P.11には中岡滉の中央研修の感想も掲載されています。

「スポーツのひろば」NO.554（2023年3月号）特集「スキーの楽しさ・魅力をみんなで語ろう」には中岡大の書いたものが掲載されています（↓）。

うまくなる喜びと 人との出会い

大学1年の前期、一般教養の体育の単位を落とした。その分の単位をとるため春休みの集中講義（5日間のスキー実技講習）に参加した。それが生まれて初めてのスキー。斜面を登ることもなかなかできずさっそく落ちこぼれたが、帰るころにはすっかりスキーにはまっていた。あのととき単位を落としたおかげで私のスキー人生は始まった。

次のシーズン、富山の「民新スキーまつり」に参加した。その時の講師がスキー協の指導員だった。それから卒業まで、富山スキー協のみなさんに何度も教えてもらった。うまくなりたくてしかなかった。うまくなっていくのが楽しくてしかたなかった。卒業する年の春、スキー協の初級指導員になった。運動ができるほうではなかった自分がスポーツの指導員になったことに驚き、少し自信もついた。

和歌山に帰ってさっそく県スキー協の行事に参加した。シーズンに一回しか会わない人とも次のシーズンに会った時には、つい昨日まで一緒に過ごしていたかのように話すことができる。不思議な感覚。これもスキーの魅力かな？

スキーと出会って40年余り。いろんな人に教えてもらうなかで、また指導を担当させてもらうなかで、いつも何かしらの発見があり、少しづつうまくなってきた。人に伝える喜びも知った（もちろん失敗の方が多いけど）。今年還暦を迎えたが、きっとまだうまくなれるような気がする。

うまくなることの喜びと、人との出会い、人とのつながり。スキーの魅力は尽きることがない。

（和歌山県勤労者スキー協議会 中岡大）

クラブだより

すべりや 1/21・22 めいほう 3名
ビュースター 3/3 ハチ北 7名
シュカブラ 3/8 めいほう 4名
きのくに 1月 野沢 2名、3/1～3志賀高原 2名

各クラブの行事の様子は次号に掲載予定

発行責任 中岡 大（和歌山県勤労者スキー協議会 事務局）

648-0003 橋本市隅田町山内 1017 TEL 0736-36-8452 携帯 090-7873-3603

E-mail dai-n.suberiya@gaia.eonet.ne.jp

和歌山スキー協ホームページ <http://spowaka.sakura.ne.jp/ski/>